

平成 27 年度 法科大学院（法務研究科）入学試験

# 刑 法 問 題 紙

B日程

平成 26 年 10 月 26 日

15 : 15～16 : 45 (90 分)

(120 点)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1 (60 点)

X は、公道上において、日ごろから不仲の A とたまたま出会ったところ、いきなり同 nhânから殴り掛かれた。X は、咄嗟にこれをかわして逃走しようとしたが、たまたまそばを通りかかった B が逃げ道をふさいでいたので、B を突き飛ばしてしまった。これに怒った B は、X を所携のナイフで刺そうとした。そこで、X は、自分の身を守るつもりで、B の持つナイフを奪い、これを使って B の胸部を 1 回突き刺した。その結果、B は心タンポナーデで死亡した。

X の罪責について論じなさい。

## 問題 2 (60 点)

X は、自宅近くの公園を散歩中、草むらに財布が落ちているのを見つけた。中には甲名義のクレジットカード 1 枚だけが入っていた。生活費に困窮していた X は、これを利用して現金を入手しようと考え、甲に成りすまし、乙デパートで液晶テレビ(販売価格 20 万円)を買い、その代金をこのクレジットカードで支払い、これを入質して現金を入手した。X が拾った財布は、甲が駅ですり被害にあい、その後クレジットカード以外の内容物を抜き取られた挙句、公園に捨てられたものであった。また、X に液晶テレビを販売した乙デパートは、丙カード会社から代金相当額(手数料若干を控除されて)の支払いを受けている。さらに、甲は、クレジットカードを盗まれたことを丙カード会社に連絡していて、甲に対して代金額の請求はされないことになっている。

X の罪責について論じなさい。